

SUPER GT Rd.1 OKAYAMA 300km RACE

#9 NAC攻殻機動隊 A R I S E DRポルシェ レースレポート

4月6日 [土] 予選 / 雨 / コース：ウェット

4月7日 [日] 決勝 / 晴れ.一時小雨 / コース：ドライ

不安定な天候の中予選日を迎えたSUPER GTシリーズ開幕戦。

これまで蓄積されたデータのない新規参入チームには特に苦しいレースとなった。

#9 NAC攻殻機動隊 A R I S E DRポルシェも例外ではなく、予選日公式練習開始直後に見舞われた雨により満身にタイヤの比較ができずにいた。

路面状況はもちろんウェット。練習中、耐え切れずスピンするチームが続出した。

#9 NAC攻殻機動隊 A R I S E DRポルシェは密山選手の走行後横幕選手にバトンタッチ、走行を開始するも最終コーナーでスピン。

ラジエーターが破損したため、やむを得ず走行を中断。公式練習は11位という結果に留まった。

公式予選はノックアウト方式で開催。Q1を走るのは密山選手。

雨の降りしきる中開催されたSUPER GT開幕戦公式予選は、予想以上に赤旗の連続となった。

雨量も多く思ったようにタイヤも温まらず、公式予選の結果は15位。Q2進出はならず。

決勝日の天候はなんとか回復したものの、やや不安定な空模様は変わらない。

刻々と変わる天候と路面状況の中フリー走行に臨んだが、タイヤ評価やセットアップの確認ができず、メカニックはピット作業のシミュレーションを重点的に行った。

迎えた決勝レース、スタートドライバーは密山選手。

スタート進行も始まり、緊張は高まる中、SUPER GT300クラス15番手からのスタート。

セーフティーカー走行を2周行った後、全車弾けるようにスタートを切った。

#9 NAC攻殻機動隊 A R I S E DRポルシェのスタートはまずまず。順調にタイムとマージンを縮め、14番手に浮上。

順調に周回を重ねたかのように思えたが7ラップ目にまさかの接触。相手は#2 エヴァ RT初号機アップルMP4-12C。

左リアのホイールを破損し、緊急ピットイン。4輪のタイヤ交換をし、ピットアウト。

引き続き走行を行うが、接触の際アライメントも狂ってしまった為、タイムの向上は難しいものとなった。

39周目にピットインし、密山選手から横幕選手へ交代。

「とにかく完走を…」

その思いが通じたのか、接触の際の不調を見せることなく、マシンは走り続けた。しかし残り4ラップというところで、サスペンションの不具合が発生したため緊急ピットイン。

走行は不可能との判断が下され、#9 NAC攻殻機動隊A R I S E DRポルシェの開幕戦は幕を閉じた。

決勝レース結果は19位完走(規定周回数をクリアしていたため。)となった。

[以下コメント]

神野監督

開幕戦は天候やアクシデントに降り回されるタフなレースとなりました。練習走行でのクラッシュに始まり、予選には十分なメニューをこなすことが出来ませんでした。それでも予選は24台中ポジション15を確保。

決勝スタートからポジションを上げるもマクラーレンGT3と接触がありマシンは緊急ピットインしたが何とか諦めない精神で完走する事が出来ました。

19位は決してよくはないがシリーズは未だ始まったばかりです。

ドライバーもメカニックも戦闘力があり簡単には潰れないタフなチームなのが解ったのは収穫。

次の富士まで時間は少ないが今回得た課題をクリアし成長していきます。

開幕戦、岡山へ沢山の応援ありがとうございました。

次は富士ラウンド、ポルシェの得意なコースで皆様に良いレースを展開したいと思いますので楽しみにしてください。

チーフエンジニア小藤

予選では、クリアラップが取れず順位を上げられなかった。

決勝は、他車と接触してしまい順位を下げ、さらに、ゴール直前にリアのアームのピボットが折れてしまった。

完走ではあるが、満足のいくレースでは、なかった。

現状2012モデルだが、BOPの関係で戦闘力は、悪くないので今回の問題点を、チーム全体で改善し次戦以降、予選、決勝共に満足のいくレースを目指したい。